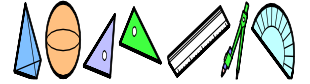


校長室だより



4月、新学期が始まり2ヶ月が経とうとしています。2ヶ月も経つと良くも悪くもクラスでさまざまな出来事が起こってきます。考え方が違う人たちが一つの教室で過ごすとその違いが気になったり、ケンカが起こったりしてしまいます。そうやって子どもたちは自分とは違う他者を受け入れていきます。

今は「多様性の時代」と言われるようにさまざまな生き方や考え方が尊重されるようになってきました。子どもたちにも多様性を受容できる人権感覚を養わなければならないと思っています。

困っているのは本人です

2ヶ月が経つと今までのがんばりが効かなくなってくる子どもがいます。遅刻が増えたり、登校しぶりが増えたりする子どもがいます。また授業中の集中が続かずに、お話をしてしまったり、立ち歩いてしまったりする子どももいます。

学校ではそのような子どもたちに対して個別の支援をしています。まずは本人の気持ちをききます。次に、そうならないような方法をいっしょに考えます。また、保護者と情報共有しながら家庭でも話をしてもらいます。

どの子どももかしくなりたい、友だちとよりよくつきあっていきたいと思っています。しかし、何らかの理由で上手くいかなかったり、モヤモヤした気持ちになったりすることで、しんどさや苦しさを感じてしまいます。

そんな本人の困り感によりそって支援をしていけたらと考えています。

遠足などでお世話になっています

ファミリーマートへの迷惑駐車をやめてください

毎回、ことあるごとに伝えさせてもらっています。6月には5年生が臨海学校を実施します。その行き帰りにはファミリーマートにバスを駐車させていただき、安全に荷物の積み下ろしをさせていただきます。毎回、お世話になっている場所に迷惑駐車をしているのが現状です。駐車場を借りるためにお願いに行く際に、「申し訳ありません」といつも謝罪しなければならないのが恒例となってしまうです。

けがをしたり、体調を悪くしたりした場合には車でのお迎えを認めています。それ以外には基本的に子どもが家に帰ってくるのを待ってから次の用事を行えるように時間の調整をしてほしいと思っています。

備えあれば…

先日、大雨が予想されテトル (tetoru) にて下校時刻の変更をお伝えさせていただきました。ほとんどの家庭で登録が済んでいるので大きな混乱もなく下校することができました。ありがとうございました。今回の対応についても振り返りを行い、次の備えにしていく予定です。子どもたちにも避難訓練で日ごろの備えの大切さについての話をしました。